



# 学校便り きらきら天妃っ子



那覇市立天妃小学校

8・9月号 令和6年 8月26日  
校長 平良 その子

## 一学期後半スタート

37日間の長い夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。夏休み期間中のお子様の健康・安全管理等、大変ありがとうございました。長期休業中、子供達の怪我や事故等の報告がなく、元気で一学期後半を迎えることができたことを大変嬉しく思います。

子供達は、夏休みの間、地域のラジオ体操や祭りに参加したり、自分の興味のあることや普段経験できないこと等に挑戦したり等、様々な経験を通して、一段と成長したことと思います。

さて、今日から一学期後半のスタートです。生活リズムを整え、子供達が楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、今後とも教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 一学期後半開始校長講話

今朝の校長講話で、子供たちに以下のことについてお話をしました。  
ご家庭でもお子様と一緒に確認をされて、励ましのお声かけ等をお願いいたします。

- 1 生活リズムを整える（早寝・早起き・朝ご飯、歯磨きの習慣化）
- 2 一学期前半の頑張ってきたことを継続して取り組む。
  - ① 進んであいさつをする（ワンランクアップの挨拶）
  - ② 「なりたい自分」に向かって継続して取り組む
  - ③ 言葉を大切にす。

「ことば」は心をもっている。「ことば」は遣う人の心が表れる。たった一つの言葉で相手の心や自分の心が変わる。周りの人とよりよい関係を気付いていくためにも何気なく使っている日々のことばを見直して大切に使っていこう。人に勇気や元気、優しさや温かさを与える、相手を思いやることば、美しいことばがあふれる天妃小学校にしていこう。

- 3 「書く力」「伝える力」「読む力」を身に付ける。 ※読書の習慣化

## 「NHK 合唱コンクール」



8月6日、「第91回 NHK 合唱コンクール沖縄大会」が、浦添市のアイムユニバース・てだこホールで開催されました。そのコンクールに、本校児童「合唱サークル」の皆さんも出演し、素晴らしい合唱を披露してくれて、見事「銅賞」を受賞しました。大きな舞台上で堂々と歌う子供たちの姿、いい声を届けようと一生懸命頑張る姿に、とても感動しました。応援してくださった保護者の皆様、大変ありがとうございました。

なお、コンクールの様子は、NHKE テレで8月24日に放送されました。

## 新職員の紹介

新たに、特別支援補助員と教育相談支援員、事務職員が配置されましたのでお知らせいたします。  
特別教育支援補助員：梅田 怜那さん 教育相談支援員：知念 新治さん 事務職員：吉田 智子さんの3名です。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、これまで勤務しておりました事務職員の林 英和さんと教育相談支援員の石原 香峰子さんは、7月で本校での勤務が終了となりました。これまで、大変お世話になりました。

裏面もあります

## 全国学力学習状況調査結果（6年生）

一学期前半に6年生を対象に実施された全国学力学習状況調査の結果をご報告いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、学校における教育活動の一側面であるとされております。

国 語		算 数	
学校平均	69.0%	学校平均	61.0%
県平均	66.0%	県平均	58.0%
全国平均	67.7%	全国平均	63.4%

※数値は、正答率となっております。

### 【課題と今後、重点的に取り組むべき学習内容】

**【国語 課題】**：「条件に合わせて書く力」「要約する力」「漢字力」「句読点を適切に使う力」「読解力」  
**〈重点的に取り組む学習内容〉**

- 習った漢字を日常的に使う指導
- 引用、主語・述語等、学びに必要な用語を使う。
- 読書・音読の習慣化

**【算数 課題】**：速さと距離から時間を求める問題、割合をグラフに表したものを読み取る問題  
 折れ線グラフを読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する問題

**〈重点的に取り組む学習内容〉**

- 速さの理解のための指導
- 問題文をしっかりと読み、問われていることをつかむための継続的な指導
- グラフや表、図の読み取り方法の指導

**※ 〈国語・算数ともに共通して重点的に取り組む学習内容〉**

- 授業や家庭学習における「条件に合わせて書く」指導
- 大切なことを端的にまとめる機会をもつ。
- 考えの根拠を書く指導

### R6「校内研究」前半の取り組み結果報告（校内研究アンケートより）

本校では、校内研究として、昨年度より主体的・対話的で深い学びを目指し、「聞く・伝える」ことに焦点化した授業改善を行っており、令和6年度前半の校内研究の取り組みを振り返ることを目的に、児童を対象としたアンケートを行いました。

アンケート結果より、学校全体として、他者の話を聞く支持的風土の醸成や少人数で自分の考えを伝える力は育まれてきていることがわかります。一方で、全体の場での伝える力や考えの根拠を伝える力、例を挙げたり他者の考えと比較して伝えたりする力に課題があることがわかりました。

「伝え合う力」を育成する授業改善に、今後も継続して取り組んで参ります。

質 問 項 目	7 月
1 話し合いをすることは大切だと思いますか。	96.5%
2 クラスの友達は自分の発表を聞いてくれますか。	94.2%
3 話を聞く時、相手の目を見て、うなずいたり、拍手をしたりしていますか。	85.4%
4 話を聞く時、友達の言ったことを確認したり質問したりしていますか。	65.7%
5 友達の話を聞いた後、聞いたことを自分の言葉で他の友達や先生に伝えることができますか。	67.0%
6 ペアの友達に、自分の考えを伝えることはできますか。	87.1%
7 みんなの前で、自分の考えを発表することはできますか。	66.6%
8 自分の考えを伝える時に、理由をつけて話すことができますか。	72.7%
9 自分の考えを伝える時に、例を挙げて話すことができますか。	59.9%
10 自分の考えを伝える時に、友達の考えと比べて話すことができますか。	66.2%

※数値は、「よくできる」「できる」を合わせた割合（%）